

## 背景

- ▶ 明石市総合交通計画では、「時代の変化に対応した誰もが安全で円滑に移動できる交通体系の確立」に向けた取組みと展開を推進
- ▶ 交通不便地域の縮減と、移動制約者の移動手段の確保を目的として導入したコミュニティバスの利用が低迷
- ▶ 人工島へのマイカー通勤による慢性的な渋滞や違法駐車が発生する一方で路線バスの利用が低迷

## 目的

- ▶ 「明石の交通ブランド戦略」として、公共交通の利用を中心としたライフスタイルの確立に向けて住民・転入者・通勤者などを対象に積極的な広報・PRを通じ、公共交通のイメージアップを図り、公共交通の利用を促進

## 明石市位置図



## 明石の交通ブランド戦略

### あかし「バスに乗ろう！」プロジェクト（転入者MM）



クルマに頼らなくとも暮らしやすいまちを目指して、公共交通の利便性向上と利用促進に取り組む明石地区バス事業者協会（神姫バス（株）・山陽バス（株））と明石市が連携したプロジェクト。あかしおてかけマップの作成や、転入者への明石市内無料乗車券配布を実施しています。

### 明石市内バス交通の「見える化」バスロケの導入



バスの遅れなど、運行状況を表示機やモバイル等で確認できるバスロケーションシステム（バスロケ）の導入を進めています。

### 官民一体となった公共交通利用促進による環境負荷軽減（企業MM）



人工島へのマイカー通勤と違法駐車車両の削減に向けて、平成23年より継続してモビリティ・マネジメントによるエコ通勤の促進と、路線バスサービスの向上、駐車対策を実施しています。

### あかし i びじょん。



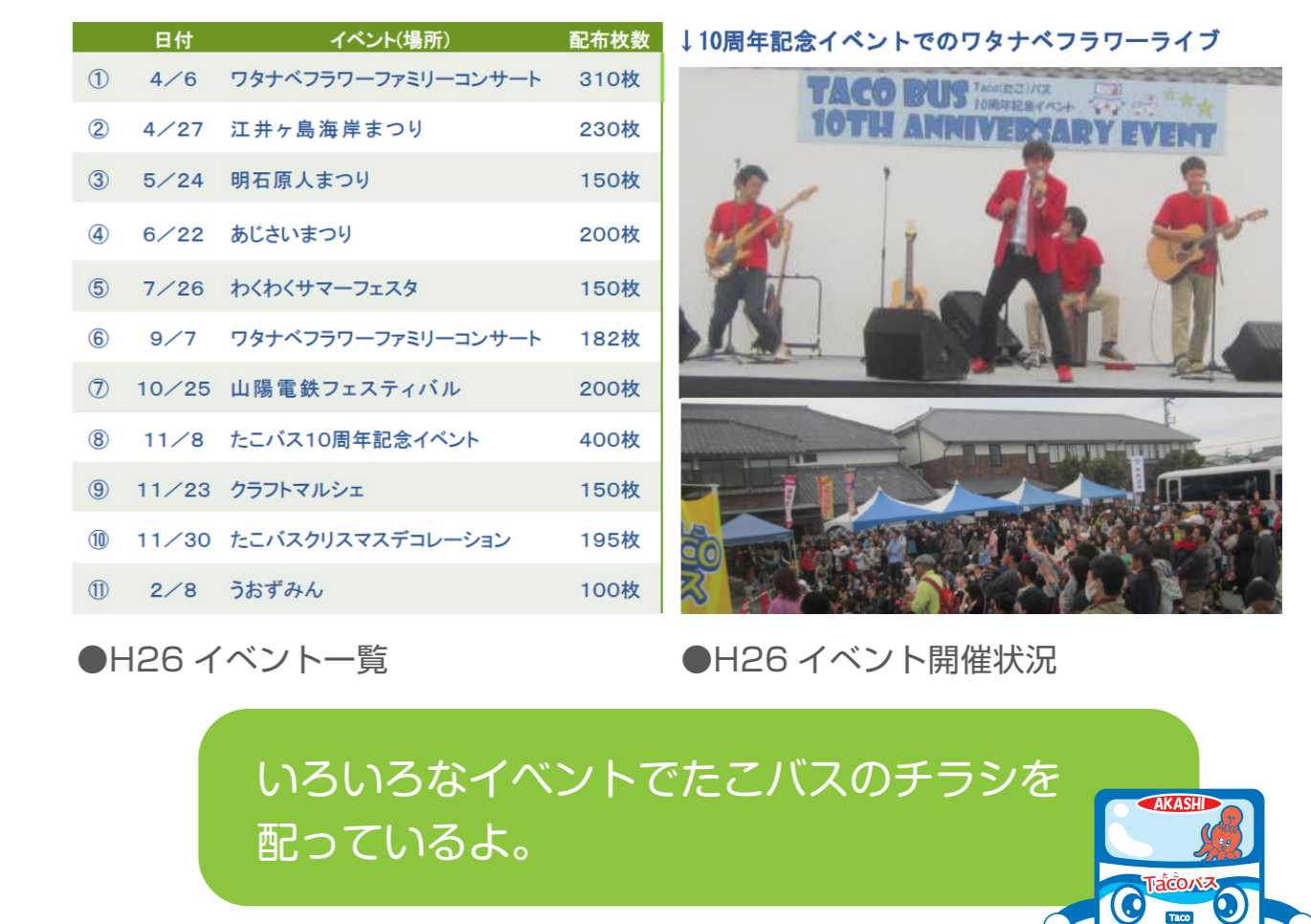
明石のバスのり場・バスの行き先・バスの発着時刻が一目でわかる「あかし i びじょん。」の設置を鉄道駅を中心に進めています。また同様の内容をパソコン・スマートフォン・携帯電話でも閲覧が可能のように情報提供しています。

### たこバスオリジナルグッズの販売



たこバスオリジナルグッズがたこバス運行事業者の明正キャブ（株）より販売されており、売上はたこバス運行収入に計上されます。

### イベントによる広報活動

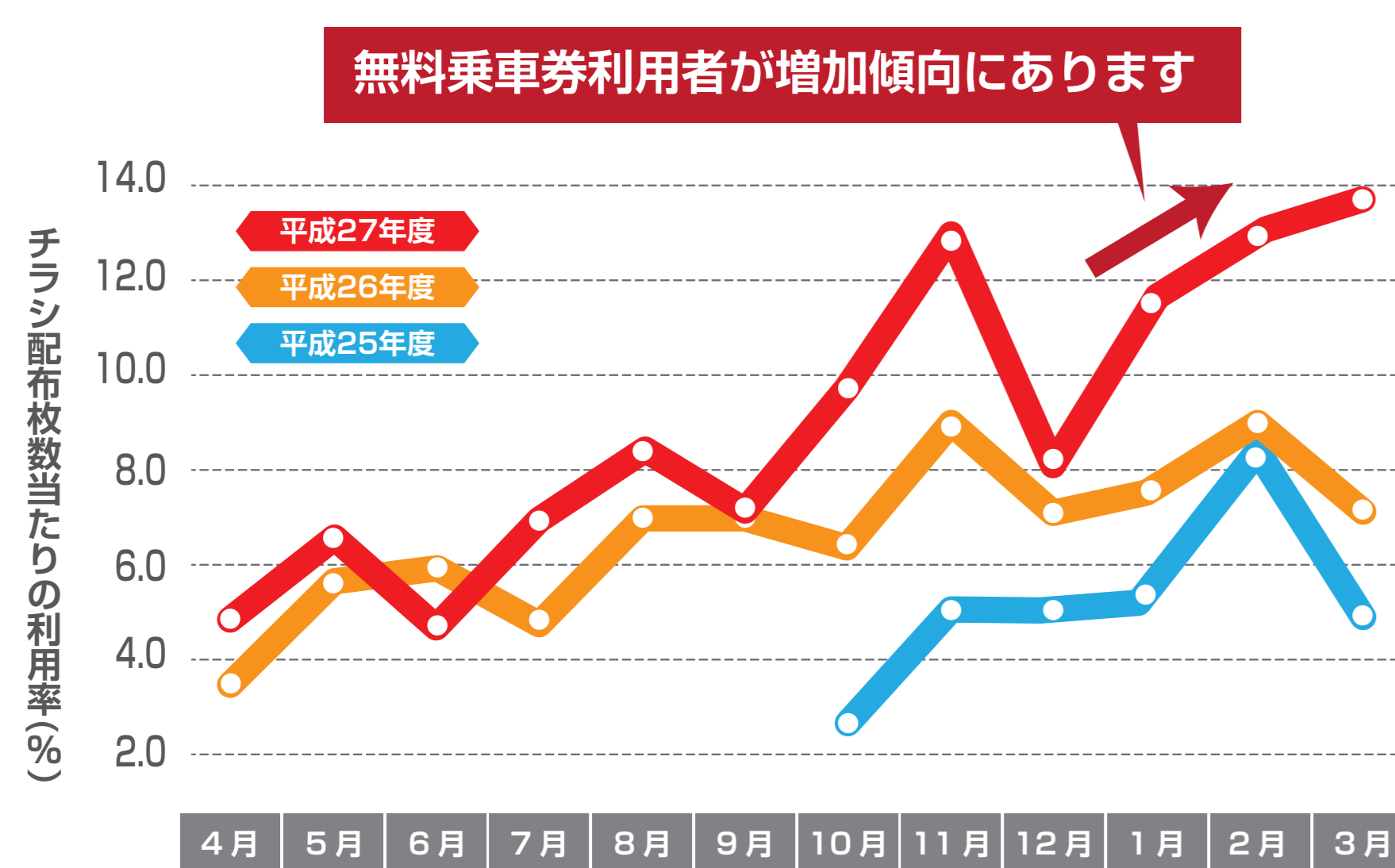


市内での主なイベントにおいて、たこバスのチラシ等を配布し、たこバスのPRを実施しています。

## プロジェクトの効果

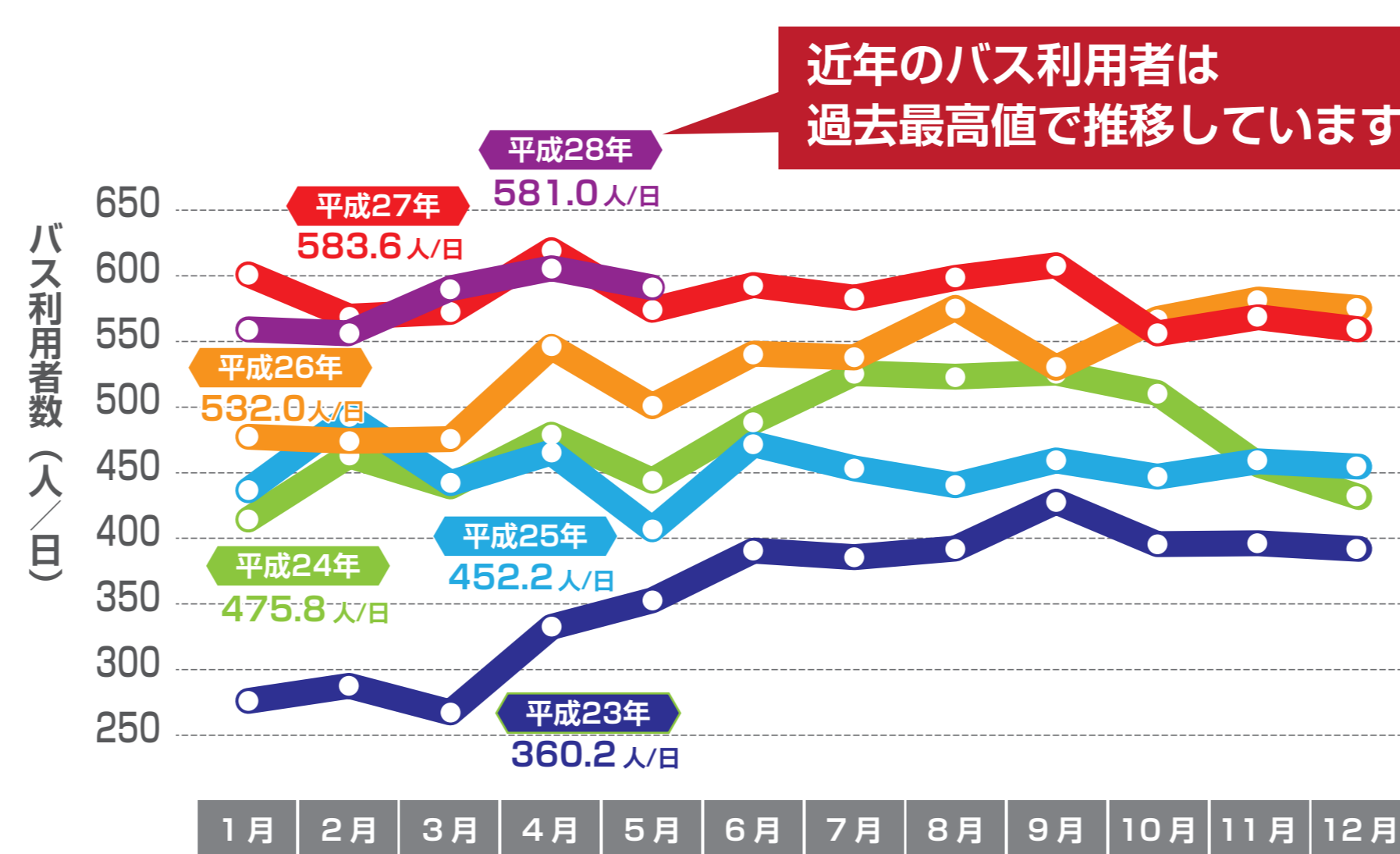
### 転入者 MM によるバス利用促進

#### 明石市内お試し乗車券チラシ利用状況の推移



### 企業MMによるバス利用促進

#### 山陽バス二見線利用状況



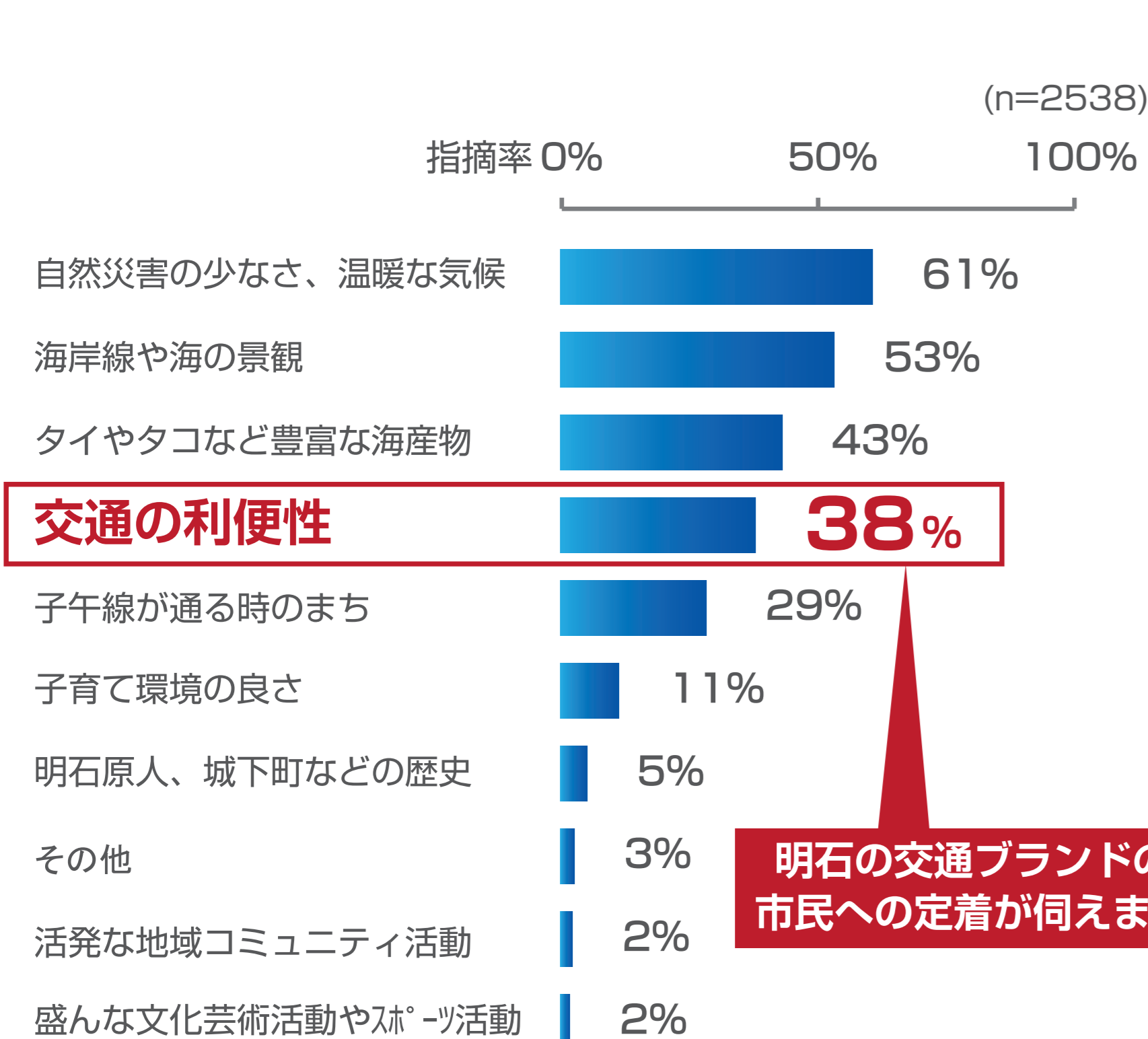
### コミュニティバス利用者数 100 万人 / 年達成

#### コミュニティバス利用者数の推移

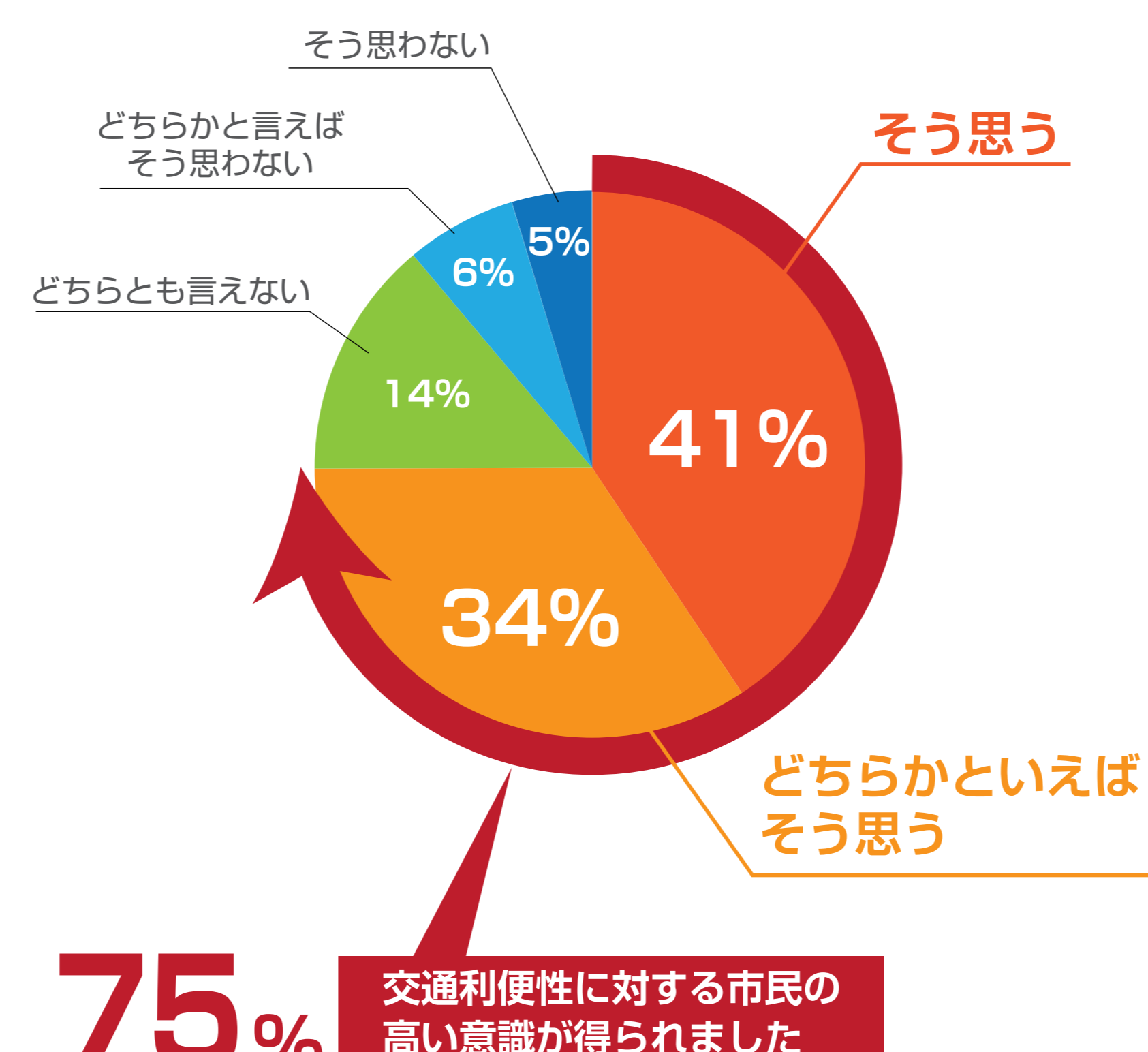


### 交通ブランドに対する高い市民意識の醸成

#### 「明石のまちの誇れるところ」の回答結果

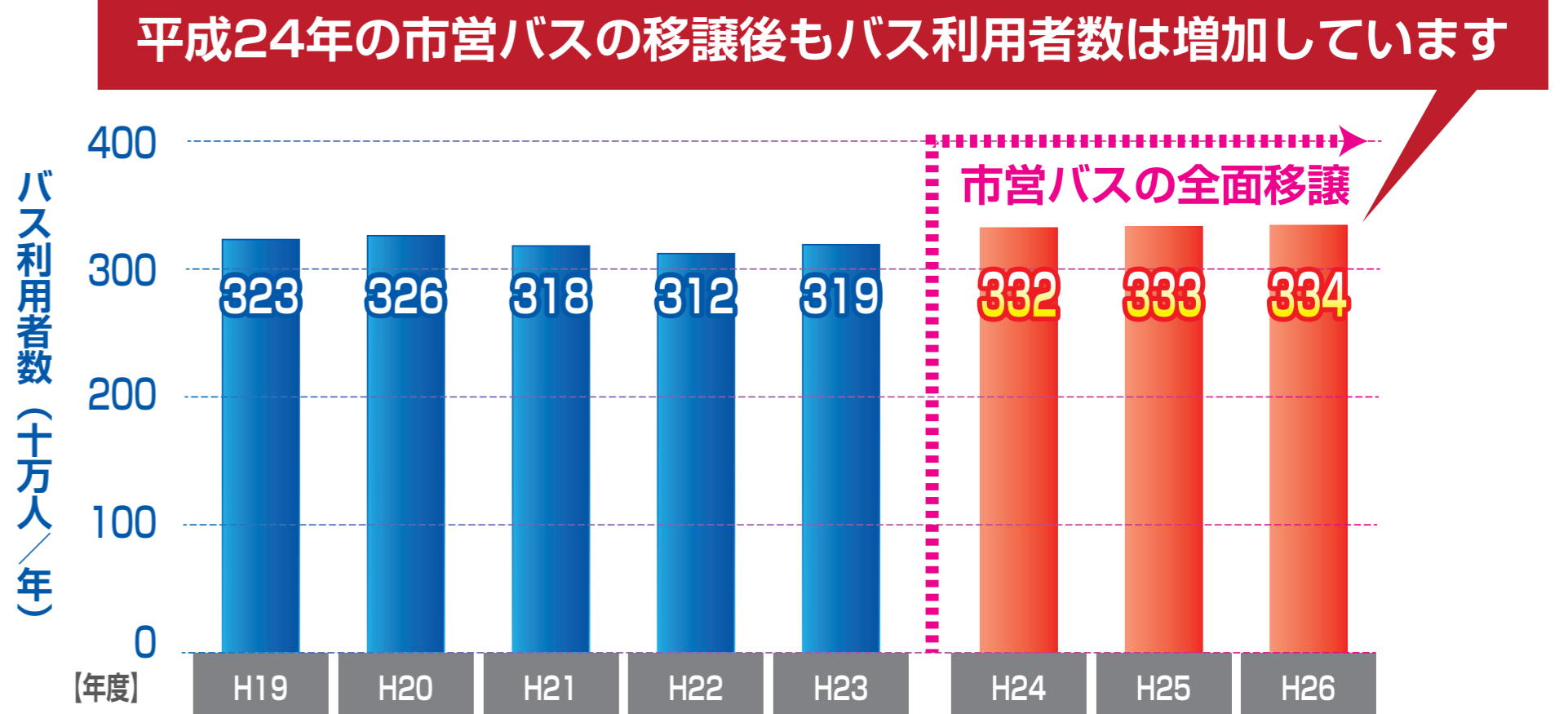


#### 「交通の利便性が高い」の回答結果



### 市内バス利用者数増加

#### 市内バス利用者数の推移



### 結論

- 地域住民や地元企業と連携し、モビリティ・マネジメントを基本とした利用促進を実施してきました。
  - 施策の実施は効果計測と評価を踏まえ、施策内容を改善するスパイラルアップに取り組んできました。
- ⇒転入者MMや企業MMの実施より、バス利用促進に成功  
⇒市民の公共交通イメージアップに成功  
⇒結果として、コミュニティバスの年間利用者100万人の目標を達成し、市内バス利用者数が増加傾向